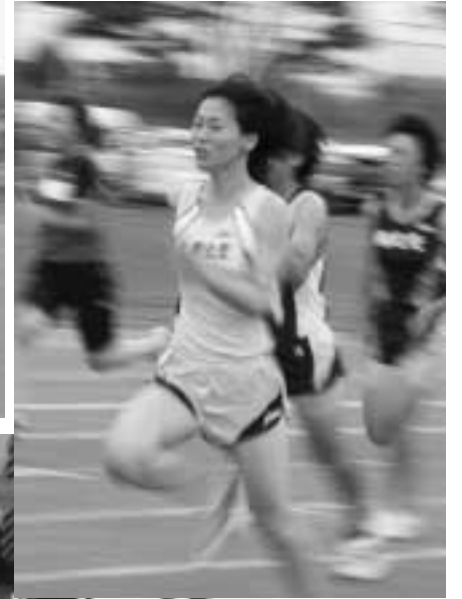




雪辱果たし優勝旗を奪還 山武郡市民体育大会



6市町対抗で18競技を競い合うスポーツの祭典「山武郡市民体育大会」が、山武市を主会場として、8月17日に開

催されました。総合4連覇を阻止され苦汁をなめた昨年のあの悔しさをばねに、今年も各選手が健闘。各種目で熱戦を繰り広げ、本町を総合優勝へと導きました。

総合成績
優勝「大網白里町」、準優勝「山武市」、第3位「九十九里町」
本町の種目別成績
優勝「柔道(15連覇)、陸上競技女子(5連覇)、バドミントン男子(2連覇)、陸上競技男子、サッカー、野球」
準優勝「ソフトテニス男子、卓球男子、卓球女子、クレー射撃、ゲートボール、バドミントン女子、剣道」
第3位「バスケットボール男子、バスケットボール女子、ソフトボール男子、ソフトボール女子、相撲、テニス、ゴルフ」

親子で学ぶ 楽しい食育

夏休み親子クッキング



夏休みに親子のふれあいを深めながら、食について楽しく学んでもらおうと、8月4日、食生活改善協議会主催による「夏休み親子クッキング」が中央公民館で開かれ、14組の親子が参加しました。

初めに夏休みのおやつとり方や乳製品の栄養について、大網東小の栄養教諭などから講義があり、参加者は身近な食を学習。その後、子どもたちは食育かるたに挑戦しました。遊びながら食の大切さを学び、ひとしきり打ちつけたら、三角巾・エプロンで身支度を整え、調理室へ。6班に分かれ、変わりフレンチトースト、かぼちゃのカレースープ、クリームチーズバナナの3品目に挑戦しました。

料理が初めての子も、火の強さを確認したり、野菜を炒めたりと大活躍。大人顔負けの腕前で、お母さんたちを驚かせました。

普段はあまりお母さんの手伝いをしないという小学3年生の高橋幸也くんも「料理はじめてだけど、割と簡単だからまた作りたい。楽しいね。料理って」と切った玉ねぎで目を潤ませながらも、笑顔で語ってくれました。

できあがった料理は、みんなで試食。中にはピーマンが苦手という子もいましたが、自分が作った料理の味は格別だったようで、話に花を咲かせながら食が進みました。

真剣に料理に取り組む子ども

自立を目指して

社会体育施設を清掃



ごみを拾う山武みどり学園の皆さん



除草を行うワーナーホームの皆さん

障害者の生活自立訓練と就労移行支援訓練の一環として、山武みどり学園・ワーナーホームの皆さんが、大網白里アリーナ・白里地区スポーツセンターの清掃活動を行っています。

今後も、働くことを通して作業能力を向上させることを目標に、月2回のペースで清掃活動を実施。社会的自立を目指し取り組んでいきます。

愛せていますか自分のまちを

小中川上流で子供自然観察会



生き物の生息をこまめに確認する参加者

晴れ渡る夏空にトンボが飛び交い、ヒグラシの鳴き声が響き渡る8月2日、自然の大

切さや美しさ、そしてその価値を再認識しようと、自然観察を楽しみました。参加者たちは、自然をより肌で感じられるよう、静かに目を閉じ、耳を澄ませる五感体操を体験。研ぎ澄まされた五感で自然を感じました。

供自然観察会が行われました。この子供自然観察会は、小中川の上流で午前午後と2回実施。総勢75人が参加し、自然観察を楽しみました。参加者たちは、自然をより肌で感じられるよう、静かに目を閉じ、耳を澄ませる五感体操を体験。研ぎ澄まされた五感で自然を感じました。

また、小中川の調査として、気温と水温、川の流れの速さや水質調査も実施。簡易的な調査道具を利用し、緩やかな流れで、やや汚れているが魚などが住める良好なアルカリ性の水との結果を、みんなで導き出しました。

その後、調査結果の確認も含め生物調査を実施。サワガニのほか、少し汚れた水でも生息できるザリガニやカワニ



ごみを拾う山武みどり学園の皆さん



除草を行うワーナーホームの皆さん

宿題の悩みを解決 夏休み子ども教室

退職した校長先生が指導員となり、夏休みの子どもたちの学習を支援し、学力の向上と異年齢間の交流を図る夏休み子ども教室。参加する子どもの数は年々増えています。

今年も町内3カ所の施設を会場に開催し、多くの子どもたちが参加しました。4年目の今年は、より多くの子どもたちに細やかな指導を行うべく、女性の元教諭にも協力を依頼。昨年と比べて多くの指導員が子どもたちの課題を手伝いました。

ポスターや感想文などのさまざまな課題に取り組む子どもたちを、指導員が専門の知識や経験を生かして熱心に指導。参加した子どもたちは「アドバイスをくれたので、いい絵ができそう」、「わからないところを聞けるので参加してよかった」と笑顔で話してくれました。

